

鮎弁当、カレー、揚げパンとミートスパ

多治見西高校(多治見市明和町)の生徒が考案した3種類の弁当が、11月2、3の両日、同市根本町のスーパー「バロー根本店」で販売される。おいしくて思い出深い学校給食をイメージしたメニューで、生徒は「自分たちが食べた給食に近い味が再現できた。味わって懐かしさを感じてもらえたら」とPRしている。(小森直人)

多治見西高生が弁当考案

懐かしの給食イメージ
2、3日販売



11月2、3日にバロー根本店で販売する弁当のポップを手にする生徒ら＝多治見市高根町、中部フーズ本社



多治見西高校の生徒が考案した3種類の弁当

店頭に並ぶのは混ぜご飯の上に鮎の甘露煮を載せた「力みなぎる鮎弁当」、人気の揚げパンとソフトめんのミートスパゲティを味わえる「ドリーム弁当」、野菜たっぷりでもろやかな給食カレーを再現した「あの頃食べたカレー給食」。企画を実現する総合的な探究の一環で、普通科

の3年生4人が発案。バローホールディングスに協力を仰ぎ、グループの総業製造販売会社「中部フーズ」(同市高根町)が調理、商品化する。
4人は安藤希歩さん、伊藤広華さん、加藤昊輝さん、西村もえさん。ポップを制作し、売り場にも立つ。各弁当、両日合わせて40〜50個限定で販売する。価格は税別で鮎弁当が598円、ドリーム弁当が498円、カレーが58円。